

経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県 白井市

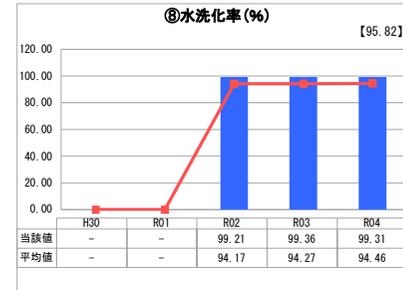
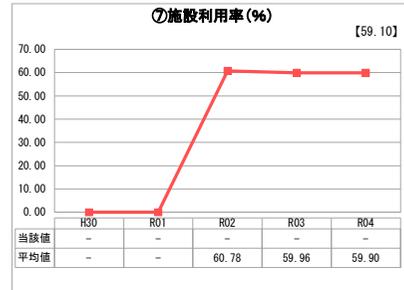
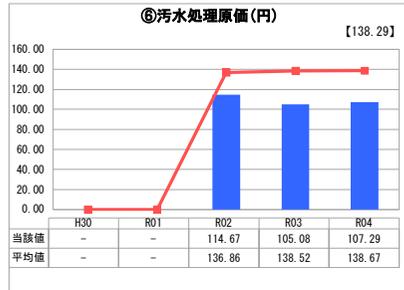
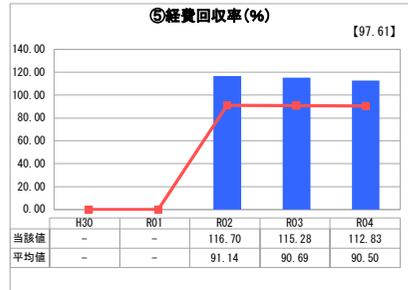
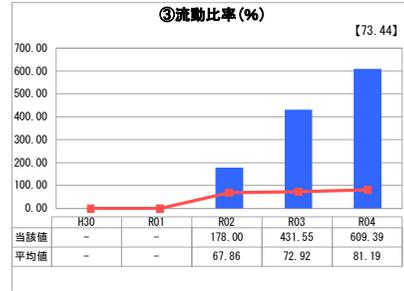
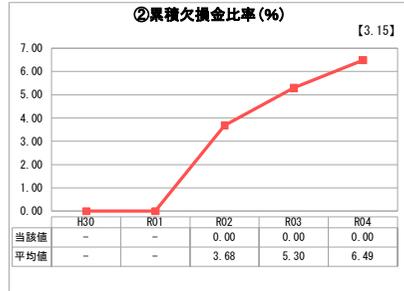
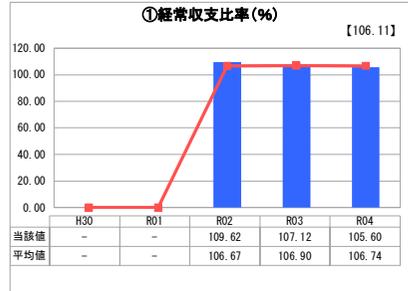
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	92.50	72.55	80.77	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,845	35.48	1,771.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
45,484	8.49	5,357.36

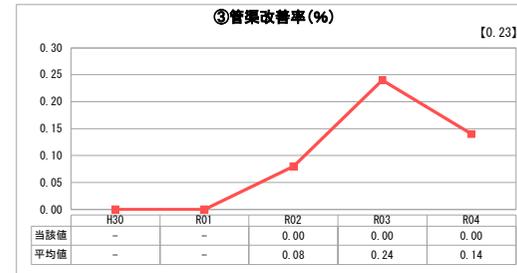
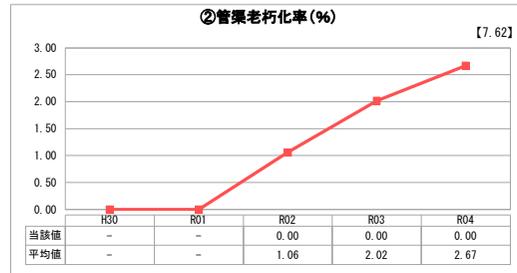
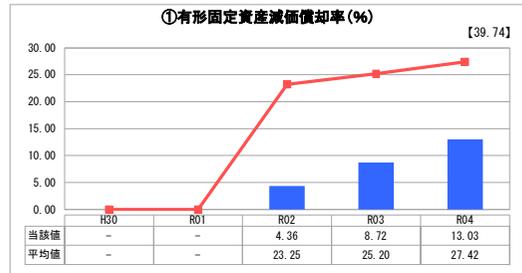
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

白井市の公共下水道事業は千葉ニュータウン事業や西白井地区の土地区画整理事業など、人口密集地区を中心に整備され、その整備は県などが実施し、その後、下水道施設の受贈を受けている。

また、汚水処理については、単独で処理場を持たず、印旛沼流域下水道及び手賀沼流域下水道の処理場を利用している。

さらに、市営水道区域では、水道事業と一括で徴収を行い、また県営水道区域においても、令和3年1月から徴収一元化により千葉県企業局へ下水道使用料の徴収を委託しているとともに、中継ポンプ場等の運転管理業務についても、令和4年度から水道事業の配水場運転業務とあわせ、一括で業務を委託し、費用の削減を図った。

上記のことから、経費回収率は100%を上回っており、企業債現在高も管渠延長からは極めて少ないことから、公共下水道事業における健全性・効率性は高いものとなっている。

2. 老朽化の状況について

下水道管渠等の耐用年数である50年を経過したものが少ないことから、他団体と比較し低い数値となっている。

なお、老朽管更新については、令和2年度に老朽状況の調査を実施した上で、令和3年度から7年度までの5年間を期間とするストックマネジメント計画を策定し、令和4年度は汚水管渠更生工事、下水道ポンプ施設・設備の交換工事等を実施した。

全体総括

公共下水道事業の経営については、健全であるが、主に千葉ニュータウン区域を中心とした人口の減少などにより、使用料の減収が想定されることから、ストックマネジメント計画に基づき計画的かつ効率的な維持管理を行っていく。

また、令和2年度に策定した上下水道経営戦略に基づき、経営基盤の安定化や効率化を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。